

ClipboardProcessor 操作手引き

Copyright (C) 2007-2013 YGGDRASILL SOFT

1. ClipboardProcessorについて

1. はじめに

ClipboardProcessorは、クリップボード上の情報をワンタッチで加工するユーティリティソフトです。パソコン操作でよく使うテキスト加工などの処理をホットキー入力で簡単に実行することができます。

対象のユーザはプログラマー、システムエンジニア、ヘルプデスクやパソコンを使った事務作業をされる方を想定しています。

このドキュメントはClipboardProcessorに関するライセンス、インストール、アンインストールなどの基本的な情報の提供と、代表的な使い方の解説を目的としています。

2. ライセンスなど

- (1) このソフトウェアはフリーウェアです。あなた(利用者)の責任の下で自由に使うことができます。
- (2) このソフトウェアの著作権はYGGDRASIL SOFTと中 貴一にあります。
- (3) このソフトウェアの改変は許可しません。
- (4) このソフトウェアの販売は許可しません。
- (5) このソフトウェアを使用、もしくは使用する為に行った行為に起因して発生したいかなる事象についても、YGGDRASIL SOFTと中 貴一、及びその関係者は一切の責任を負いません。全て自己責任において使用してください。
- (6) 2次配布はアーカイブの内容を変更しない限り許可します。可能ならば事前にご連絡ください。
- (7) このソフトウェアのバグについて、著作権者は修正の義務を負いません。

3. インストール

インストールの必要はありません。ClipboardProcessor.exeを実行すれば起動します。

4. アンインストール

ディレクトリごと削除してください。このソフトウェアはレジストリの操作は行いません。

5. 機能一覧

機能一覧はクイックヘルプコマンド「CTRL + ALT + スペース」でも見ることができます。

コマンド名	機能	コマンド	備考
コメントアウト	行頭にコメントアウト文字を挿入する (SHIFTキー同時押下でコメントイン)	CTRL + ALT + R	「/」を挿入する
		CTRL + ALT + #	「#」を挿入する
		CTRL + ALT + /	「//」を挿入する
シングルコートコマンド	行頭と行末に「 」を挿入する	CTRL + ALT +	SHIFTキー同時押下 で取り除く
行頭カンマコマンド	行頭に「,」を挿入する	CTRL + ALT + ,	
行頭引用符コマンド	行頭に「>」を挿入する	CTRL + ALT + >	
行末セミコロンコマンド	行末に「;」を挿入する	CTRL + ALT + ;	
タブ置換コマンド	タブを「 」に置換する	CTRL + ALT + W	
リンク補正コマンド	複数行に改行されてしまったパスを一行に 修正する	CTRL + ALT + L	
キューコマンド	クリップボードの内容をキューに格納する	CTRL + ALT + Q	
次キュー取り出しコマンド	キューの次の行をクリップボードにロード する	CTRL + '+'	キューがない場合何 もしない
前キュー取り出しコマンド	キューの前の行をクリップボードにロード する	CTRL + '-'	キューがない場合何 もしない
ファイル名取得コマンド	コピーしたファイルをファイル名のテキスト に変換	CTRL + ALT + F	
		CTRL + ALT + P	絶対パス付き
		CTRL + ALT + U	ネットワークドライブ をUNC表記に変換
ファイル取得コマンド	コピーしたファイル名(絶対パス)をファイル のコピーに変換	CTRL + ALT + G	複数行でも可能
ファイル保存コマンド	クリップボードをファイルに保存	CTRL + ALT + S	テキストまたはBMP
プレビューコマンド	クリップボードのプレビューを表示	CTRL + ALT + V	テキストまたはファイル
書式情報取り除きコマンド	クリップボードのテキストから書式情報を 取り除く	CTRL + ALT + E	
ファイルオープンコマンド	クリップボードのファイルパス(絶対パス) を全て開く	CTRL + ALT + O	

2. プログラムやスクリプトをコメントアウトする

VBやJavaScript、Shellファイルなどを作っている際、テストのため一時的に一部分をコメントアウトしたい場合があります。
このような場合はコメントアウトコマンド「**CTRL + ALT + R**」を使うと便利です。

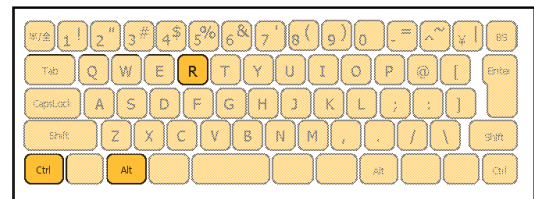
1. コメントアウトしたい範囲を選択してコピーします。



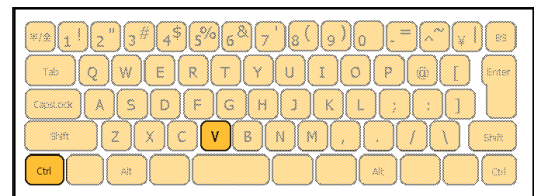
```
do
  g=0
  for i=1 to last-1
    if x(i)<x(i+1) then
      temp=x(i+1):x(i+1)=x(i):x(i)=temp
      g=1
    end if
  next
  last=last-1
loop while g<>0

for i=1 to 10
  kekka=kekka & x(i) & ", "
next
```

2. コメントアウトコマンド「**CTRL + ALT + R**」を押します。



3. 編集結果を貼り付けます。



```
last=10
do
  g=0
  for i=1 to last-1
    if x(i)<x(i+1) then
      temp=x(i+1):x(i+1)=x(i):x(i)=temp
      g=1
    end if
  next
  last=last-1
loop while g<>0
```

上記のようにコメントアウトされます。
コメントアウトを外したい時は「**CTRL + ALT + SHIFT + R**」を使います。

JavaScriptやC言語などの場合は **CTRL + ALT + /** を、Shellなどの場合は **CTRL + ALT + #** を使うとそれぞれの言語用のコメントアウトが挿入されます。

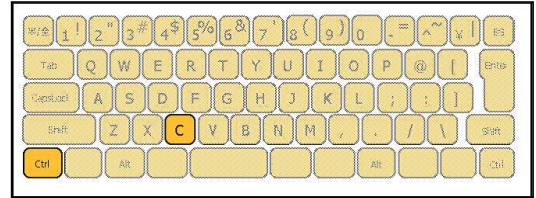
3. SQLの作成を支援する

運用や維持管理業務では、同じようなSQLを何度も作成します。この際、ExcelやAccessなどの表から値をコピーしてwhere条件やInsert文を作ることがあります。このようなSQL作成時に行う定型作業を支援します。

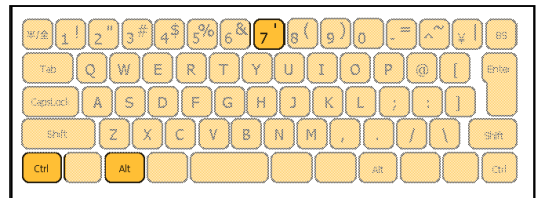
1. 使いたい範囲を選択してコピーします。



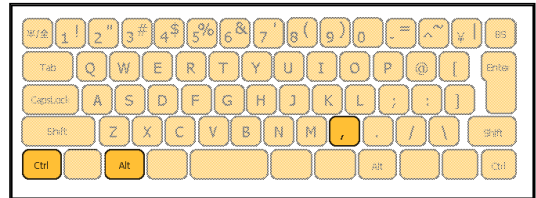
	A	B	C	D
1	通番	ユーザID	氏名	
2	1	X0100	中島	文雄
3	2	X0101	吉原	あたる
4	3	X0102	斉藤	慶介
5	4	X0103	守山	明子
6	5	X0104	葛西	臨海
7	6	X0105	富永	康弘
8	7	X0106	東国山	秀樹



2. シングルコートコマンド「CTRL + ALT + '」を押します。

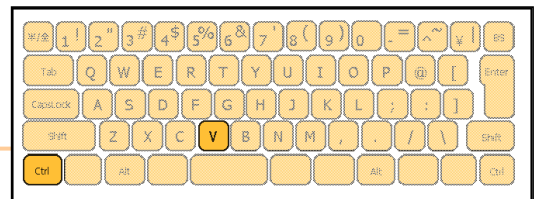


3. 行頭カンマコマンド「CTRL + ALT + ,」を押します。



4. 編集結果を貼り付けます。

```
select
*
from
住所
where
苗字 in (
'中島'
'吉原'
'斉藤'
'守山'
'葛西'
'富永'
'東国山'
);
```



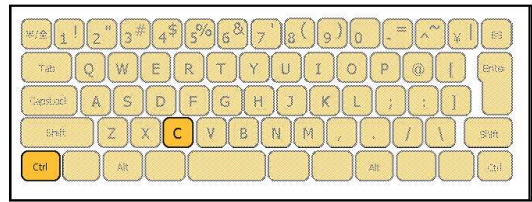
編集したいパターンによって以下のコマンドを使い分けてください。

- ・全行をシングルコーテーションで囲む「CTRL + ALT + '」
- ・全行の行頭にカンマを挿入する「CTRL + ALT + ,」

上記のように編集されます(一番最初のカンマは手動で削除します)。

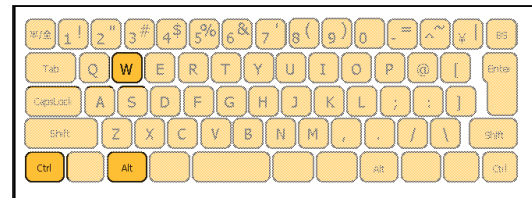
表計算ソフトの値からのInsert文の作成にはタブ置換コマンド「CTRL + ALT + W」を使います。

1. 使いたい範囲を選択してコピーします。

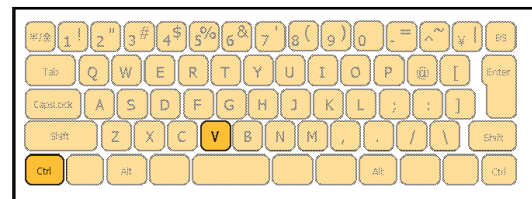


A2					▼		= 1	
	A	B	C	D				
1	通番	ユーザID	氏	名				
2	1	X0100	中島	文雄				
3	2	X0101	吉原	あたる				
4	3	X0102	斉藤	慶介				
5	4	X0103	守山	明子				
6	5	X0104	宮西	臨海				

2. タブ置換コマンド「CTRL + ALT + W」を押します。



3. 編集結果を貼り付けます。



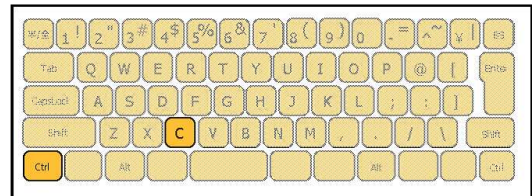
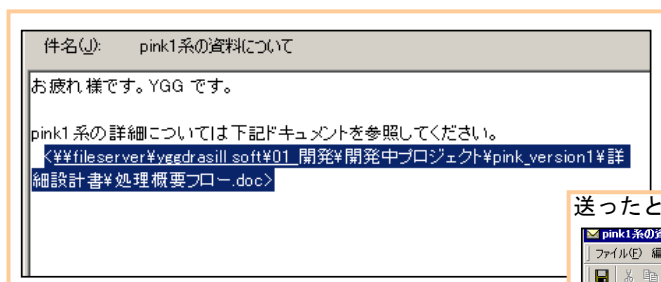
```
insert into ユーザマスタ values (
'1','X0100','中島','文雄'
'2','X0101','吉原','あたる'
'3','X0102','斉藤','慶介'
'4','X0103','守山','明子'
```

上記のように編集されます。

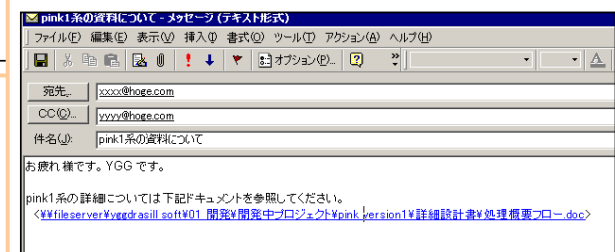
4. メールのリンクなどを修正する

Outlookなどでメールを送信する際、ファイルパスに「<>」をつければ自動的にリンクになります。便利な機能なのですが、メールサーバを経由しているうちに自動的に改行が入ってしまうことがあります。このような場合はリンク補正コマンド「CTRL + ALT + L」を使うと簡単に改行を取り除くことができます。

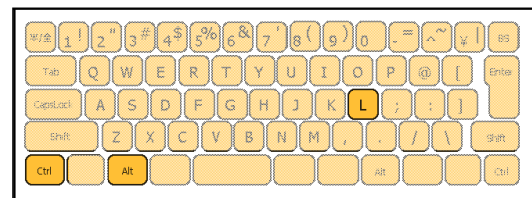
1. 修正したいパスを選択してコピーします。



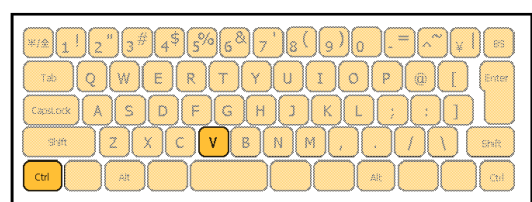
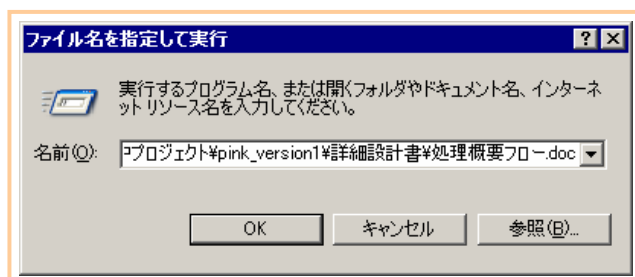
送ったときはこうだった



2. リンク補正コマンド「CTRL + ALT + L」を押します。



3. 編集結果を貼り付けます。



上記のように編集されます。

メールの返信などで、

```
>>>¥¥fileserver¥yggdrasill soft¥01_開発¥開発中プロジェクト
>>>¥¥pink_version1¥詳細設計書¥処理概要フロー.doc>
```

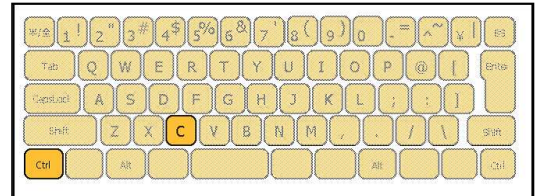
のように引用符がついてしまった場合でも自動的に引用符を取り除きます。

5. コピーしたデータを1行ずつ取り出す

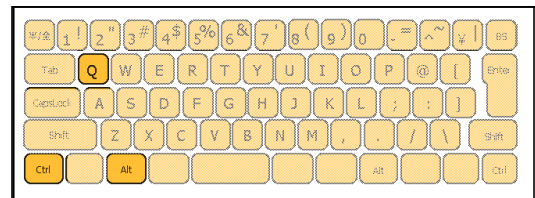
仕事をしていると、何百行もあるデータを1行コピーしては貼り付け、また1行コピーして貼り付け・・・のように1行ずつコピーする地味な作業があります。こんなときキューコマンド「**CTRL + ALT + Q**」を使うと、全行を一気にコピーして、1行ずつ順番に取り出して貼り付けることができます。

1. 使いたい範囲を選択してコピーします。

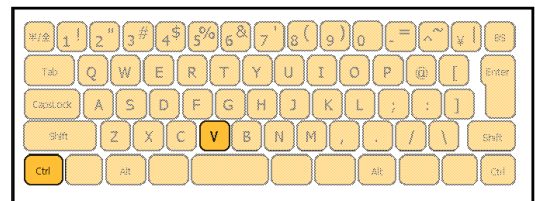
	A	B	C	
1	通番	ユーザID	氏	
2	1	X0100	中島	文
3	2	X0101	吉原	あ
4	3	X0102	斉藤	慶
5	4	X0103	守山	明
6	5	X0104	葛西	臨
7	6	X0105	富永	康
8	7	X0106	東国山	秀



2. キューコマンド「**CTRL + ALT + Q**」を押します。

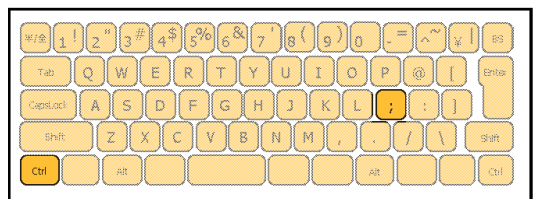


3. 貼り付けると1行目だけが取り出せます。

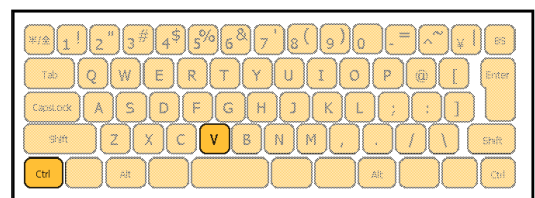


あなたのユーザIDは **X0100** です。
 あなたのユーザIDは です。
 あなたのユーザIDは です。
 あなたのユーザIDは です。

4. 次キュー取り出しコマンド「**CTRL + +**」を押します。



5. 再度貼り付けると2行目が取り出せます。



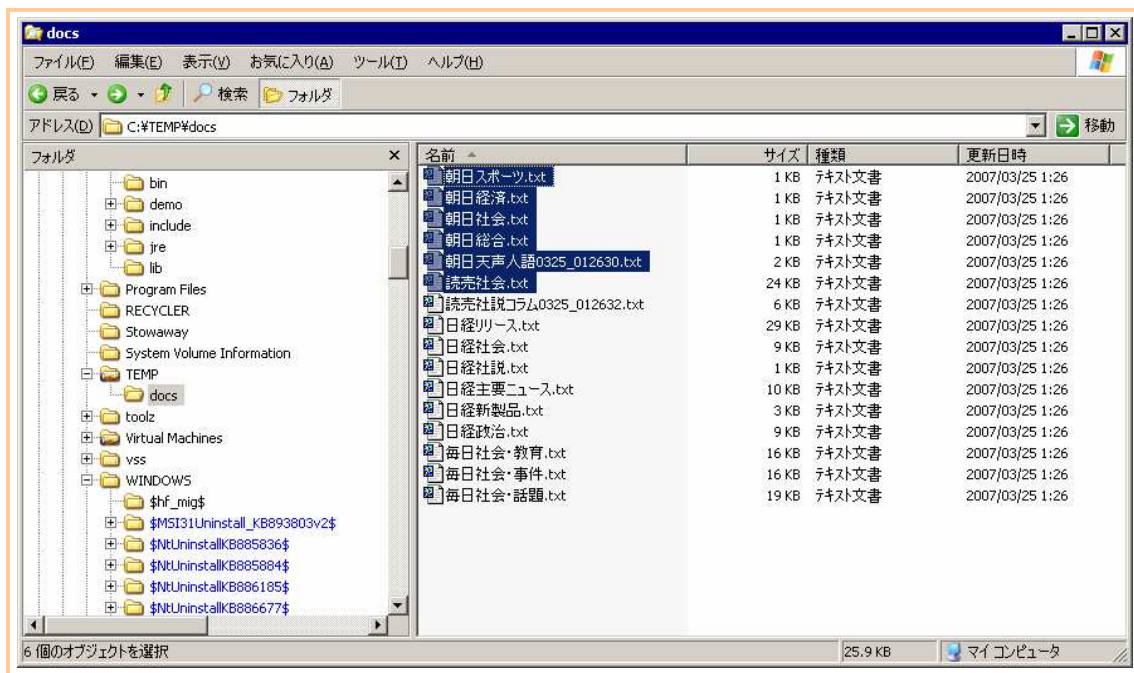
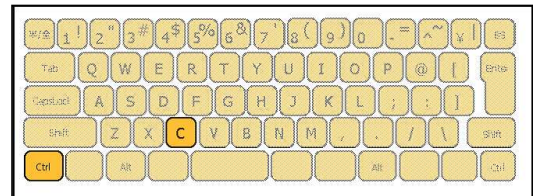
あなたのユーザIDは **X0100** です。
 あなたのユーザIDは **X0101** です。
 あなたのユーザIDは です。
 あなたのユーザIDは です。

前キュー取り出しコマンド「**CTRL + -**」を押すと1行前を取り出せます。

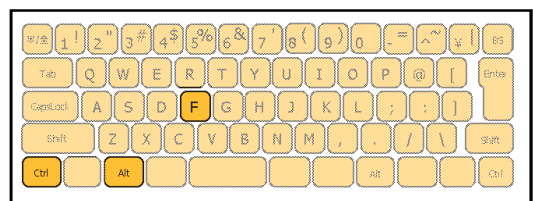
6. ファイル名をコピーする

ファイル名取得コマンド「**CTRL + ALT + F**」を使うと、エクスプローラーなどで選択したファイルのファイル名を簡単に取得することができます。

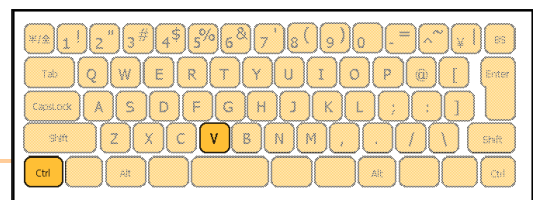
1. ファイルをコピーします。



2. ファイル名取得コマンド「CTRL + ALT + F」を押します。



3. 貼り付けるとファイル名が取得できます。



朝日スポーツ.txt
朝日経済.txt
朝日社会.txt
朝日総合.txt
朝日天声人語0325_012630.txt
読売社会.txt

絶対パス付きファイル名取得コマンド「**CTRL + ALT + P**」を押すと絶対パス(フルパス)で取得できます。
UNC表記ファイル名取得コマンド「**CTRL + ALT + U**」を押すとネットワークドライブをUNC表記で取得できます。ネットワークドライブ以外は絶対パス(フルパス)で取得します。
上記とは逆に、絶対パスのファイル名をコピーしている状態でファイル取得コマンド「**CTRL + ALT + G**」を押すとファイルを取得できます。

7. クリップボードをファイルに保存する

ファイル保存コマンド「**CTRL + ALT + S**」を使うと、クリップボードに保持しているテキストをファイルに保存することができます。

1. テキストをコピーします。



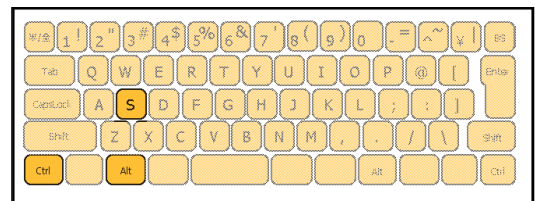
イリティソフトです。テキストエディタからコピーした文字列の全ての行頭にカンマ記号を挿入したり、Excelなどからコピーしたデータ全てをシングルコーテーションで囲ったりすることが簡単にできます。

対象のユーザはプログラマーやシステムエンジニア、特に運用や維持管理のフェーズに携わっておりJavaScriptやVBScript、Shell、SQLなどを日常的に作成する方、プログラムの試験工程で試験データを大量に作成する方などを想定しています

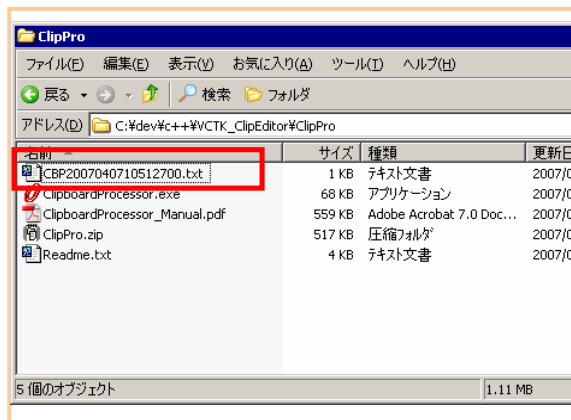
■ 2. 使い方

同梱の「ClipboardProcessor_Manual.pdf」をご覧ください。

2. ファイル保存コマンド「**CTRL + ALT + S**」を押します。



3. ClipboardProcessorの作業フォルダにファイルが保存されます。



ファイルの保存先 (ClipboardProcessorの作業フォルダ) はショートカットを作って「作業フォルダ(S)」項目を編集することで変更できます。

